

思春期の子どもと向き合う

思春期の子どもをもつ保護者の皆さんの中には、「何かうちの子が変わった」「子どものことがよく分からない」などと、悩んでいる方がたくさんいらっしゃるようです。皆さんもここで立ち止まって、日頃の子育てをふりかえてみませんか。

Q 思春期の子どもとのコミュニケーションで気をつけたいことはありますか？



A 思春期の子どもとのコミュニケーションは、気を遣う時もありますね。だからと言って避けていては、子どもとの間に溝が……。ほんのちょっと気をつけてみませんか。

1 無意識に言ってしまう「一言」が危険!!

例：子 今日部活でね、できないことができるようになったんだ。

親 そう、それじゃ勉強もできるようにね。

2 話を聴くことは、「能動的」なこと!!

子どもがどんな気持ちで話しているのか、そしてどんな反応を期待しているのかを考えたいものです。

例：子どもに期待されている言葉の例

「なるほどね」「頑張ったね」「じゃあ、どうする？」

「応援するよ」「そういう考え方もあるね」「また教えてね。」

3 子どもの気持ちを落ち着かせる!!

子どもがフラットな気持ちでいられるように伝える。

例：テストや部活動の試合に行くときの声かけの例

○ 「力を出し切ってきてね」
「今まで頑張ったんだから大丈夫」

× 「本当に大丈夫なの？」
「ミスをしないようにね」

子どもとのコミュニケーション

キーワードは「子どもと『一緒』」
できるだけ子どもとともに過ごしたいものです。



親学出前講座のお知らせ

保護者が集まる機会や、子育てサークルのグループ活動などに職員等が出向き、親学に関する講座を行い、子どもをより良く育てるための保護者の学びを応援します。

保護者の皆さんなどが集まる機会に、ぜひご活用ください。

平成23年度の実績

講座数 102件 参加者人数 4,167人

9割を超える方から「参加してよかった」と評価をいただいています。

親学と子どもの情報誌 「こどもるっくる」 編集委員募集のお知らせ

平成25年2月発行予定の親学と子どもの情報誌「こどもるっくる」を、情報誌作成に関心のある市民の皆さんと一緒に作成します。

自分の子育て経験を生かして子育てを応援したい人、情報誌作成に興味・関心のある人は、是非ご参加ください。

親学出前講座と情報誌の問い合わせ先
教育委員会生涯学習課 TEL.632-2651